相　模　女　子　大　学
相模女子大学短期大学部 後援会

後援会会報 第50号

発行日／2020年3月13日　発行所／相模女子大学・相模女子大学短期大学部後援会
編集責任者／後援会事務局（大学事務部学事企画課）
住所／〒252-0383相模原市南区文京2-1-1　電話／042-742-1433　FAX／042-813-5022

Sagami Women's University

No.50

後援会会報

March.2020

目　次

2019年度後援会事業報告 …… 1〜2
役員会／相生祭／就職に関する懇談会／クリスマスコンサート
定期総会開催のご案内

50号記念に寄せて …… 3〜4

50号特別企画キャンパスレポート …… 5〜6

地域活動紹介 ……7

クラブ活動紹介 ……8

課外活動奨励賞受賞者 …… 9〜10

学年暦 …… 10

2019年度 後援会事業報告

役員会

常任理事会

日時：2019年9月28日(土)9:30〜10:20

議事 (1) 相生祭について
(2) 就職に関する懇談会について
(3) クリスマス企画について
(4) 卒業記念品について
(5) 防災用品について

日時：2020年2月15日(土)9:30〜10:20

議事 (1) 2019年度事業報告（案）
(2) 2019年度予算執行状況について
(3) 2020年度事業計画（案）について
(4) 2020年度概算予算案について

理事会

日時：2019年9月28日(土)10:30〜12:00

議事 (1) 相生祭について
(2) 就職に関する懇談会について
(3) クリスマス企画について
(4) 卒業記念品について
(5) 防災用品について

日時：2020年2月15日(土)10:30〜12:00

議事 (1) 2019年度事業報告（案）
(2) 2019年度予算執行状況について
(3) 2020年度事業計画（案）について
(4) 2020年度概算予算案について

相生祭

日時：2019年11月3日（祝）　会場：7号館ラウンジ

学園祭（相生祭）初日、短期大学部食物栄養学科の学生有志の皆さんと先生方のご協力を得て、後援会で「健康促進コーナー　アンチエイジング健康チェック」を開催しました。血圧・握力・体脂肪等を測定する「健康測定コーナー」と、栄養に関する相談とアドバイスを行う「栄養相談コーナー」を設置し、123名の方にご来場いただきました。みなさん真剣な表情で自身の体の状態を確認されていたのが印象的でした。

就職に関する懇談会

日時：2019年11月16日（土）　会場：3号館、7号館、夢をかなえるセンター

大学および短期大学部の保証人を対象とした「就職に関する懇談会」を開催し、253名の参加がありました。午前中は、深澤後援会会長、風間学長の挨拶の後、2級キャリアコンサルティング技能士である北原譲氏による「就職活動における親の関わり方」と題した講演が行われました。午後は、企業の内定を得た学生3名による就職活動体験談、就職支援課長による就職状況報告の後、内定を得た学生を囲んでの学科別懇談会、個別就職相談が行われ、充実した内容の一日でした。参加者からは「不安が緩和された」、「学生の生の声はとても刺激になり活力をもらえた」等の感想が寄せられました。

クリスマスコンサート

日時：2019年12月12日（木）　会場：カフェテリア101

夢をかなえるセンター2階カフェテリア101において、毎年恒例となっている後援会主催のクリスマスイベント「音楽で彩るクリスマス」コンサートを開催しました。昨年度に引き続きマンドリンクラブと吹奏楽部による演奏が、そして今回、初めてジャス研究部の演奏が行われました。「聖夜（きよしこのよる）」や「そりすべり」など、6曲のクリスマスソングの生演奏が学生の皆さんのランチタイムに彩りを添えました。また、後援会役員からは、来場した学生の皆さんにソックスを模った小箱に入ったクッキーがクリスマスプレゼントとして配られ、より一層クリスマス気分が高まり、大変喜ばれました。

定期総会開催のご案内

日時：2020年6月13日（土）（予定）　会場：相模女子大学

2020年度定期総会を上記の日程で開催予定です。
当日は定期総会終了後に教育懇談会等も予定しておりますので、多くの会員の参加をお待ちしております。
会員の皆様には後日、詳細をご連絡いたします。

50号記念に寄せて

皆様のおかけで相模女子大学・相模女子大学短期大学部後援会会報は今号で50号を迎えることができました。
これを記念して、歴代後援会会長をはじめ、これまで後援会の発展にご尽力いただいた方々からメッセージを頂戴いたしました。

後援会会長　深澤　信隆

多くの人の英知と努力が歴史を作り、歴史から学ぶ事を生かしながら、相模女子大学に通う学生は日々の学業に取り組んでいます。そうした中で、相模女子大学・相模女子大学短期大学部後援会が1995年4月1日に活動を開始してから、今年でちょうど25年を迎える事になりました。またこの秋には大学創立120周年の節目を迎えます。

先人の築きあげた伝統と新たな取り組みを融合し、さらに学生の為に今何が出来るかを考えながら、大学に在籍している限られた時間の中で、学生一人ひとりの夢が膨らみ、未来を見つめ、夢を見つけて、社会に羽ばたける女性を育てる為に、大学と連携を取りながら後援会は活動を続けて参りました。

そうした活動の成果が実を結び、大学が進めている地域協働活動では、これまで多くの学生が大学の外に出て地域の人とふれあい、多岐に渡り経験を積みながら社会の仕組みを知る事が出来ました。

また年を重ねる度に、受け入れて頂いた地域と大学との絆も深まり、そこに新たな交流も出来ました。

こうした地道な活動が評価され、雑誌「日経グローカル」の調査「大学の地域貢献度ランキング」にて、本学は2011～2019年度の間、連続で全国女子大学で第1位を獲得致しました。

それ以外にも年間を通して後援会は会員の皆様のご理解とご協力を賜りながら学生のニーズに合わせた学生支援をさせて頂いております。

今後こうした活動が継続し、学生が個々の可能性に挑んで夢を掴んで行くお手伝いをしたいと考えます。

会員の皆様には、今後も、引き続きご理解とご支援を賜りますようにお願い申し上げ、結びとさせて頂きます。

初代後援会会長　井原　徹

平成５年（１９９３年）に二女の知絵が、相模女子大学学芸学部食物学科管理栄養士専攻に入学した。翌年だったか、突然谷崎学長から電話があり、この度大学・短期大学部で後援会を創りたいので、会長になってほしいと要請された。谷崎学長は誰かに会長をお願いするにあたって、在学生の父母の職業欄を見ていたら、「早稲田大学文学部兼大学院文学研究科事務長」という記載が目に留まったのだそうだ。谷崎先生は早稲田大学の大学院を修了されているから、親しみを感じたであろう。私は断る理由もないので、お受けすることとした。それから約１年間、立ち上げのための準備会が続いた。会則、活動内容などを決めて、平成７年（１９９５年）に後援会は正式に発足し、私は初代会長に就いた。後援会長として娘の卒業式に出席したことは、懐かしい思い出である。

会長として心掛けたことは「大学・短期大学部に無償の愛を捧げる」ということだった。役員の利権や学校行政に対する圧力等は一切排除する方針で会務に臨んだ。そして、「すべては学生のため」を徹底的に追求したつもりである。

役員には中学や高校の父母会の役員を経験している方々が多くいて、後援会の会務運営はとてもスムースに進んだ。今でも役員の皆さんに感謝している。

会報５０号記念にあたって、谷崎先生がおられないことは私にとって、何とも寂しいことである。

相模女子大学・相模女子大学短期大学部　学長　風間　誠史

後援会会報50号と谷崎先生のこと

後援会会報50号、会報は年２回発行ですから25周年ということで、大変おめでたいわけですが、おめでたくない話から始めざるを得ません。既にご存知のことと思いますが、昨年10月26日に谷崎昭男理事長が急逝されました。谷崎先生は理事長ご就任以前から、学部長・副学長・学長と、長く本学を牽引してこられ、後援会が発足したのも、谷崎先生が学部長をお勤めの時でした。当時本学は学芸学部一学部で、学部長はほぼ現在の学長に当たる役職でしたから、後援会の設立は、谷崎先生の大きな功績のひとつなのです。

谷崎先生の編まれた学園史『校舎は焼けても、学校は焼けない―相模女子大学の110年―』には、

> 平成6年（１９９４）10月1日、相模女子大学・同短期大学部後援会が設立された。会則第三条によると、「本会は会員相互の親睦を図ると共に大学の教育研究活動、学生の福利厚生、課外活動等を後援し、もって大学の発展を期することを目的とする」とある。……会は毎年度予算を組み、前記目的を果たすために、大学に対する資金面での支援も行った。そして年2回、会報を発行することとした（創刊号は平成7年9月刊）。

と、ごく簡略に記されています。谷崎先生がご存命であれば、この記念すべき会報50号に寄稿していただき、後援会発足当時のお話もうかがえたのにと、残念でなりません。

ともあれ、1995年9月に会報が創刊され、以後9月と3月の年2回、一度も欠けることなく発行されたことは、後援会が順調に歩んできたことの証であり、谷崎先生にも喜んでいただけると思います。私も役職に就いて10年以上になりますが、この間後援会の皆さまとの交流は本当に楽しく、また大学としてありがたく感じることの多いものでした。今後も大学を支えていただき、また様々なご意見を寄せていただければと思っています。

第11代後援会会長　杉山　一雄

後援会会報50号心よりお祝い申し上げます。

これも長きにわたって会員の皆様、役員の皆様のご尽力のたまものと思います。

私は2009年～2011年の３年間後援会長を務めさせていただきました。

大学との役員会において昨年ご逝去された谷崎理事長(当時は学長)のお人柄にずいぶん助けられた思い出でいっぱいです。会長退任後も毎年相生祭に伺うと気さくに雑談をしていただけました。心より御冥福をお祈り申し上げます。

会長時代は学生の安心、安全と就職活動のフォローを重点に活動させていただきました。特に2011年は東日本大震災が起き、被災地とはずいぶん離れていましたが帰宅困難者が大学構内に避難され、備蓄された物資で事なきを得ました。後援会として一番重要視したのは家族の安否確認です。大学構内にいる場合、それ以外の場合どのように連絡を確認し合うかです。大学にマニュアルを配布していただいたと記憶しています。これからも何時起きるかわからない災害に備えていただきたいと思います。

就職活動については大学が産学連携を盛んに活動されているようですので後援会も積極的に応援ができるとよいと思います。

私も会長就任時期は一企業人として積極的に産学連携を行っていました。情報誌に頼るのではなくインターシップ活動や産学連携活動の中で企業を知ることも大事ではないでしょうか。私は、今でも大学、企業、研究者のグループ活動に参加させていただいています。中小企業の中にも大企業に負けない立派な会社がたくさんあります。

大学と、後援会が一体となって学生の支援ができることを願っております。

50号特別企画

キャンパスレポート

紹介担当
日本語日本文学科
2年 浅野 彩

紹介担当
メディア情報学科
2年 箱嶋 郁香

広大なキャンパス内を彩る豊かな自然環境はもちろんのこと、相模女子大学に足を運んだら、ぜひチェックしてほしいキャンパスの定番スポットや意外な見どころを在学生2人がレポートします。

写真撮影協力
日本語日本文学科 2年　築田 陽菜
メディア情報学科 2年　馬場 真里奈

C 体育館

おしゃれできれいな外観のこの建物は「体育館」です。更衣室やトレーニングルームなど設備も充実。体育の授業やクラブ活動で利用されています。

2階
トレーニングルーム

あまり知られていないですが、2階にジムにあるようなスポーツ器具が置いてあり、誰でも利用できます。体を動かしたい時にぴったりです。
■メディア情報学科　2年 箱嶋 郁香

A マーガレット本館

キャンパスの緑と美しく調和する６階建ての「マーガレット本館」。２階のサガジョ・テラスをはじめ、インターネットができるラウンジなど、学生が自由に利用できる施設が整っています。

イチョウ並木
マーガレット本館の前を通る並木道。キャンパスのシンボルとなっています。

1階
ラーニングコモンズ

電子黒板やコンセントがあるので、ミーティングやパソコンで作業したい人にピッタリです！
■日本語日本文学科　2年 浅野 彩

B ３号館

大きな階段教室を2室備えた「3号館」。広いキャンパスのほぼ中心にあるこの施設には、書店や売店など、学生のキャンパスライフに欠かせない施設が揃っています。

1階
売店

休み時間に使えるスペースや売店があります。書店や学内で困った時に助かる雑貨売場もあり、よく利用しています。
■メディア情報学科　2年 箱嶋 郁香

D 茜館

キャンパス正門を入ってすぐ右手奥にあるのは相模原市の登録有形文化財に指定されている「茜館」です。隣接するフランス庭園は、相模原市の登録名勝となっています。

E 夢をかなえるセンター / マーガレットホール

創立100周年を記念して建てられた「マーガレットホール」は、学生のキャリア形成をサポートする場所「夢をかなえるセンター」でもあります。2階にはカフェテリア、隣接する喫茶棟にはティーラウンジなど学生の憩いの場所があります。

喫茶棟２階
ティーラウンジ

側面がガラス張りになっていて、売店もあるので、景色を眺めながらリラックスできます。
■日本語日本文学科　2年 浅野 彩

フランス庭園　季節を彩る美しい自然を楽しめます。

地域活動紹介

岩手県大船渡市

私たちの第二の故郷、復興アパート

2011年の東日本大震災から3ヶ月後の6月に、有志の学生が岩手県大船渡市で炊き出しをしたことがきっかけで、復興支援学生ボランティア委員会は発足しました。相模原市と大船渡市は銀河連邦という姉妹都市で繋がっているため、交流を続けています。様々な学部学科学年の学生が所属しています。

訪問活動は、9月と2月に行っています。その他にも相模大野駅で行われるクラフト市で大船渡の作家さんの小物の販売をお手伝いさせていただいたり、ギオンスタジアムや、神奈川県の大船駅で行われるイベントでの物産販売を行ったり、幅広く活動しています。相生祭ではさんまとほたてを焼き、毎年多くのお客様にご好評をいただいています。

2018年度から大船渡の企業のバンザイファクトリーさんの協力をいただきながら、椿茶を使用したお菓子の商品開発にも取り組んでいます。

復興支援学生ボランティア委員会委員長
子ども教育学科 3年　清水　莉胡

福島県本宮市

マーガレットカフェの開催

大賑わいの大さん橋マルシェ

本宮SMILEプロジェクトは本宮市をもっと笑顔にしたいという想いをもつ有志学生が集まり活動しています。2019年度の活動は、主に3本の柱で活動してきました。

まず1つ目は、物産展です。横浜の大さん橋マルシェにて、6月と9月の2回出店させていただきました。他の地域団体の出店も多く、大規模なマルシェで本宮の名も広められる良い機会となりました。

2つ目は、カフェの開催です。9月に本宮市のしらさわ直売所で2日間限定の「マーガレットカフェ」を開きました。テーマは、「ちょっとおしゃれな休日ランチ」。本宮の食材を生かした新しいメニューを、という想いでメニュー考案から当日の運営まで行いました。

3つ目は、本宮市の地元企業である御稲プライマルさんとの商品開発です。「小さなお菓子に本宮の美味しさ詰めました！」というコンセプトをもとに、本宮の野菜を生かしたスコーンの製作に取り組みました。何度も試作を繰り返し、「本宮の美味しさ」を伝えられる商品を目指し現在も試行錯誤中です。

管理栄養学科 3年　泉山　衿花

神奈川県愛甲郡清川村

宮ケ瀬クリスマスメニュー

出店の様子

神奈川県唯一の村、清川村の特産品開発プロジェクトは、清川村内における地域の一層の活性化と村民サービスの向上を目的とし、村の特産品を使ったジェラートやレストランメニューの開発、清川恵水ポークを使ったソーセージ・ベーコン等の食品加工の開発を行っています。

ジェラート・レストランメニュー開発グループと食肉加工食品・イベント活動グループに分かれ、それぞれ「地域おこし協力隊」の方に教えていただきながら、学生が8月～9月の間に集まり話し合い、新しい味を考案していきました。班ごとに考案し試作したソーセージとジェラートは、活動拠点であるレストランや相生祭にて試験販売を行っています。相生祭ではソーセージの投票を行い、どの味が人気なのかを調査しました。

また、11月～12月にかけて開催された宮ケ瀬クリスマス等の各種イベントに参加し、村のPRとともにホットドッグやお茶ラテなど、清川村の特産品を使用した食品の試験販売も行っています。

社会マネジメント学科 2年　兵藤　美紅

クラブ活動紹介

かるた部

2019年度相生祭にて

はじめに、日頃から後援会の皆様には、ご支援いただきありがとうございます。2019年度には、助成金をいただき、和装かるた着を購入させていただきました。部員を代表して、心よりお礼申し上げます。

私達かるた部は、毎週水曜日にコーチに指導していただき、部員一同練習に励んでいます。

2019年度は2018年度よりも多くの大会に出場することが出来ました。7月には、相模女子大学マーガレットホールにて行われた神奈川県かるた大会にて、新入部員が日頃の練習の成果を発揮することが出来、見事優勝を収めました。また、夏に近江神宮にて行われた、全日本大学かるた選手権大会に出場したことは、部員にとって大きな自信につながりました。

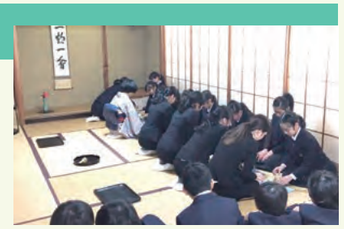
恒例の夏合宿は、熱海にて二泊三日で行うことが出来ました。練習もその他も充実した夏合宿となりました。部員の親睦も深めることが出来ました。

これからも様々な大会に出場予定なので入賞目指して精一杯務めさせていただきます。その他の活動にも励んでいきたいと思っております。

今後ともどうぞご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

かるた部部長
日本語日本文学科 2年　小澤　絹

茶道部


小学部「つなぐ手」の様子

「思いやりの心」

日頃から後援会の皆様にはご支援いただき、誠にありがとうございます。私達茶道部は学内にある茶室「明月庵」で裏千家の先生のご指導のもと、月に二回お稽古しております。活動は学内だけでなく外部とも交流し、積極的に行っています。

その一つとして「つなぐ手」という活動があり、相模女子大学小学部で行っている茶道授業に、部員は補助として参加します。授業は九月と二月に行い、一年生から六年生までお茶やお菓子のいただき方、お茶のたて方など、茶道の基本的な動作を教えています。お茶を飲む時はお茶碗の正面(絵柄)を避ける、お茶やお菓子をいただく時は左隣の人に「お先に」と一礼するなど、一つ一つの動作には相手を思いやる心があります。

このように茶道授業では作法を教えるだけでなく、思いやりの心を児童さんと一緒に学ぶことが出来ます。私達茶道部にとっては貴重な経験であり、将来役に立つスキルを得られました。

今後も「和敬静寂」の精神をもって部員一同精進して参ります。

茶道部会計
人間心理学科 2年　小林　愛

ジャズ研究部

2019年度相生祭での演奏

ジャズ研究部は2017年度に新しくできたクラブです。活動内容としてはジャズの演奏を中心に活動をしています。曲や楽器は自分たちが好きなもの、演奏したいものを選んでいます。活動内容は部室で週に1回ほど、個人練習と合わせ練習を行なっています。今年度はお花見会、クラブ紹介週間、相生祭、オープンキャンパス、クリスマス会で演奏を行いました。

新しい部活であるため、少人数だからこそ、様々なことを試しながら、楽しく活動できるような研究部を目指しています。

2017年にジャズ研究部を立ち上げた時は、部員3人だけの小規模な愛好会でしたが、2019年には部員数が21名となり、正式なクラブとして認められ、大きなクラブになることができました。

今年度は後援会や大学、学生自治会からも援助をいただくことができて、今までよりも質の高い演奏をすることができました。来年度は新しい試みとして、定期演奏会や、学校行事での演奏などを目標としています。これからもジャズ研究部らしく、沢山の人を喜ばせられるような演奏を届けていこうと思います。

ジャズ研究部部長
管理栄養学科 3年　井口　まりの

2019（令和元）年度　課外活動奨励賞受賞者

この賞は、様々な課外活動の分野で顕著な活躍をした学生（個人および団体）を、
大学と後援会が共同して表彰することにより、広く学生全体の課外活動を奨励することを目的としています。

個　人

個人名	所属学科	表彰内容・理由
長尾　咲季	健康栄養学科 4年	自身の手話の特技を活かし、本学の手話の勉強会にて、参加学生に手話指導を行い、参加学生に向けて積極的に手話の資格取得の支援を行った。手話の勉強会を活性化させ、現在はサークルを目指すまでに発展させたことが高く評価された。
井上　千帆里	健康栄養学科 3年	2018年度日本学生オリエンテーリング選手権大会のミドル・ディスタンス競技部門WUBにおいて、第2位という大変優秀な成績を修めた。また、日々の部活動で熱心に練習に励み、部員に的確なアドバイスをする等、リーダーシップを発揮したことが高く評価された。
金子　果	英語文化 コミュニケーション 学科 3年	学科主催のTOEIC試験で高得点を獲得し、カナダオリンピック代表ボートチームのテストキャンプにて通訳のボランティア活動をした。また、Kids' Book Projectの副リーダーとして、英語講座で子どもの英語学習を支援。TOEICの成績や学習姿勢、教育ボランティアの活動が高く評価された。
酒井　萌衣	英語文化 コミュニケーション 学科 3年	学科主催のTOEIC試験で高得点を獲得し、ブラジルのオリンピック水泳選手団の通訳ボランティア活動や車いすのボランティア活動、Kids' Book Projectのメンバーとして英語講座で子どもの英語学習を支援する活動、オープンキャンパス学科企画の学生スタッフ等に参加、大学や社会に貢献した。積極的な学習やボランティア活動の姿勢が高く評価された。
神戸　悠	英語文化 コミュニケーション 学科 3年	カリフォルニア州立大学チコ校での半年間の留学後、外資系ホテルにて英語を用いたインターンシップに参加、インターンシップ先より高い評価を得た。サービス接遇検定で1級を取得、TOIEC IPテストで高得点を獲得する等、顕著な成績を修めた。

団　体

団体名（所属学科）	表彰内容・理由
Kids' Book Project （日本語日本文学科、 英語文化コミュニケーション学科、 メディア情報学科）	Kids' Book Project は、デジタル絵本を通して学習の楽しさを伝えることにより、国内外のこどもたちの外国語学習支援に大きく貢献した。このプロジェクトには、日本語日本文学科、英語文化コミュニケーション学科、メディア情報学科の学生の総勢47 名が参加し、各学科の専門性を活かして、デジタル絵本を制作・配信し、学内外でのワークショップやイベント企画・開催に多数取り組んだ。2019 年度は、オンラインストア（Apple Books）で配信中のデジタル絵本のダウンロード総数が7,195 件に到達し、欧州や米国では国内のダウンロード件数を上回った。
くすのき広場ボランティアチーム （人間心理学科）	本チームの人間心理学科の学生4名は、1年生から現在に至るまで、市営団地における子どもの居場所づくりの活動「くすのき広場」に学生ボランティアとして関わり続け、地域における子育て支援、地域課題の解決に貢献したことが高く評価された。また、この「くすのき広場」を運営する「子どもの育ち応援団」は、これまでの活動が評価され、令和元年11月、内閣府の「子供と家族・若者応援団表彰」にて「内閣府特命担当大臣表彰」を受けた。
ボランティアグループ どれみんみん♪ （子ども教育学科）	子ども教育学科学生によるボランティアグループ「どれみんみん♪」は、2016年度より活動を開始し、週1回の会議（企画会議・準備作業・反省会）を行い、社会的養護・障害児福祉・障害者福祉の3つの柱からなる活動に献身的に取り組み、被虐待児童や貧困家庭児童、障害児者など社会的弱者への支援に幅広く携わったことが高く評価された。2019年度に卒業するメンバーは、活動開始年度に入学し、4年間活動を続け、在籍者は20名と、どれみんみん♪全メンバー37名中の半数を占めている。
内田チーム （日本語日本文学科、 管理栄養学科）	第16回神奈川産学チャレンジプログラムにて、東急建設（株）のテーマ「マスコット募集!!創立60周年東急建設の認知度を高めるための施策」において、日本語日本文学科2名、管理栄養学科2名の学生による本チームが「お菓子でゼンリョク109（トーキュー）」を企画提案し、優秀賞を受賞した。この活動は、ゼミなどの取り組みではなく、学生自身が自主的に集まり、担当教員を探し、依頼することからスタートしており、参加から企画立案に至るまでのプロセスについても高く評価された。
地方創生・地域活性化活動チーム （英語文化コミュニケーション学科）	本チームメンバー6名は、北陸地方を中心に35日間地域貢献活動を行い、全国エコツーリズム学生シンポジウムにおいて、『世界遺産富山県五箇山における伝統農法「なぎ畑」と伝統野菜「五箇山カブラ」をエコツーリズムを通して持続可能な地域資源に』について口頭発表を行った。また、神奈川産学チャレンジプログラムにて、相鉄ホールディングス株式会社のテーマ『宿泊特化型ホテル「相鉄フレッサイン」に求められる将来の客室像について』で、若い女性も泊まりたくなるビジネスホテルの部屋のアイディアを提案し、優秀賞を受賞。地域貢献活動や発想力を発揮し社会に貢献した活動が高く評価された。
産チャレ2019 チーム （英語文化コミュニケーション学科）	本チームメンバー3名は、神奈川産学チャレンジプログラムで優秀賞を受賞し、さがみ発想コンテストにも参加、うち1名が入賞した。また、企業や地域団体の課題解決に取り組み、中日本エクシス株式会社や相模原市上大島観光協会からも高い評価を得ている。大学の「おりひめ祭」にも積極的に参加し、中心的な役割を担った。真摯に取り組む姿勢は他の学生の見本となるものであり、自己を成長させるとともに大学のブランド価値を高めたとして、その貢献度が高く評価された。

2020（令和2）年度　学年暦【大学】

2020(令和2)年

3月25日(水)～27日(金)
春学期Web履修科目登録期間（在学生）

4月1日(水)・2日(木)・4日(土)・6(月)
新入生オリエンテーション、春学期Web履修科目登録指導・登録期間(新入生)

4月3日(金)
入学式

4月6日(月)・7日(火)・8日(水)
健康診断(在学生)

4月7日(火)
健康診断(新入生)

4月8日(水)
春学期Web履修科目確認日

4月9日(木)
春学期履修科目優先追加登録

4月10日(金)
クラス会(新入生)

4月13日(月)
春学期授業開始

4月20日(月)・21日(火)
春学期履修科目追加・訂正期間

4月29日(水)　振替休日
祝日授業

6月13日(土)
学芸学部「日本漢字能力検定試験」

7月23日(木)　祝日(海の日)
祝日授業

7月24日(金)　祝日(スポーツの日)
祝日授業

7月23日(木)～29日(水)
春学期最終授業週および春学期末定期試験期間

7月29日(水)
春学期授業終了

7月30日(木)～8月1日(土)
春学期末定期試験期間

7月30日(木)・31日(金)
レポート提出日

8月4日(火)～9月20日(日)
夏季休業

9月10日(木)
春学期成績発表

9月10日(木)・11日(金)・12日(土)
秋学期Web履修科目登録期間

9月16日(水)
秋学期Web履修科目確認日

9月17日(木)
秋学期履修科目優先追加登録

9月18日(金)
春学期末卒業式

9月21日(月)
秋学期授業開始

9月21日(月)　祝日(敬老の日)
祝日授業

9月22日(火)　祝日(秋分の日)
祝日授業

9月28日(月)・29日(火)
秋学期履修科目追加・訂正期間

10月18日(日)
創立記念日

10月31日(土)
学芸学部「日本漢字能力検定試験」

11月2日(月)～5日(木)
相生祭(2日準備、5日片付け)授業なし

11月23日(月)　祝日(勤労感謝の日)
祝日授業

12月24日(木)
秋学期前半授業終了

12月25日(金)～1月11日(月)
冬季休業

2021(令和3)年

1月12日(火)
秋学期後半授業開始

1月16日(土)・17日(日)
大学共通テスト

1月19日(火)～25日(月)
秋学期最終授業週および秋学期末定期試験期間

1月25日(月)
秋学期授業終了

1月26日(火)～28日(木)
秋学期末定期試験期間

1月26日(火)・27日(水)
レポート提出日

2月12日(金)
卒業年次生成績発表

3月10日(水)
卒業式

3月16日(火)・17日(水)
秋学期成績発表、在学生オリエンテーション

3月27日(土)～30日(火)
春学期Web履修科目登録期間（在学生）

2020（令和2）年度　学年暦【短大】

2020(令和2)年

3月25日(水)～27日(金)
春学期Web履修科目登録期間（在学生）

4月1日(水)・2日(木)・4日(土)・6(月)
新入生オリエンテーション、春学期Web履修科目登録指導・登録期間(新入生)

4月3日(金)
入学式

4月6日(月)・7日(火)・8日(水)
健康診断(在学生)

4月7日(火)
健康診断(新入生)

4月8日(水)
春学期Web履修科目確認日

4月9日(木)
春学期履修科目優先追加登録

4月10日(金)
クラス会(新入生)

4月13日(月)
春学期授業開始

4月20日(月)・21日(火)
春学期履修科目追加・訂正期間

4月29日(水)　振替休日
祝日授業

7月23日(木)　祝日(海の日)
祝日授業

7月24日(金)　祝日(スポーツの日)
祝日授業

7月23日(木)～29日(水)
春学期最終授業週および春学期末定期試験期間

7月29日(水)
春学期授業終了

7月30日(木)～8月3日(月)
春学期末定期試験期間

7月30日(木)・31日(金)
レポート提出日

8月4日(火)～9月20日(日)
夏季休業

9月10日(木)
春学期成績発表

9月10日(木)・11日(金)・12日(土)
秋学期Web履修科目登録期間

9月16日(水)
秋学期Web履修科目確認日

9月17日(木)
秋学期履修科目優先追加登録

9月18日(金)
春学期末卒業式

9月21日(月)
秋学期授業開始

9月21日(月)　祝日(敬老の日)
祝日授業

9月22日(火)　祝日(秋分の日)
祝日授業

9月28日(月)・29日(火)
秋学期履修科目追加・訂正期間

10月18日(日)
創立記念日

11月2日(月)～5日(木)
相生祭(2日準備、5日片付け)授業なし

11月23日(月)　祝日(勤労感謝の日)
祝日授業

12月24日(木)
秋学期前半授業終了

12月25日(金)～1月11日(月)
冬季休業

2021(令和3)年

1月12日(火)
秋学期後半授業開始

1月16日(土)・17日(日)
大学共通テスト

1月19日(火)～25日(月)
秋学期最終授業週および秋学期末定期試験期間

1月25日(月)
秋学期授業終了

1月26日(火)～29日(金)
秋学期末定期試験期間

1月26日(火)・27日(水)
レポート提出日

2月12日(金)
卒業年次生成績発表

3月10日(水)
卒業式

3月16日(火)・17日(水)
秋学期成績発表、在学生オリエンテーション

3月27日(土)～30日(火)
春学期Web履修科目登録期間（在学生）